

職 務 経 歴 書

2025 年 12 月 24 日現在

氏名 KIM WOONJIN

■職務要約

韓国で大学を卒業後、株式会社ゼクシスで3年間バックエンドを中心に複数プロジェクトの保守開発を担当しました。
2021 年 9 月にアクセンチュア株式会社へ転職し、クラウドネイティブアプリケーションの開発・運用やアーキテクチャ設計、モダナイゼーションを主導してきました。

フロントエンド・バックエンド・インフラまで幅広く対応できるフルスタックエンジニアとして、CI/CD 構築、データ構造最適化、外部連携・SSO 設計など、開発効率・保守性・コスト最適化に寄与する改善を得意としております。

■活かせる経験・知識

- ・6 年間のフルスタック運用・開発経験
- ・キックオフからヒアリング・ワークショップによる基本設計、PoC など上流工程の経験
- ・CI/CD パイプライン構築経験
- ・オムニチャネル、受注管理、EC サービスのドメイン知識
- ・10 か国展開サービスの開発・運用アーキテクチャ設計経験
- ・SME (Subject Matter Expert) の経験

■職務経歴

2021 年 9 月～ アクセンチュア株式会社

事業内容：IT コンサルティング 従業員数：約 25,000 名

所属：Song Commerce Customer Tech

期間	プロジェクト内容	担当フェーズ	環境	メンバー/役割
2022 年 11 月 ～ 2025 年 10 月	化粧品会社 S 社の C ブランド／オムニチャネル アプリ運用・保守・開発 【担当業務】 店舗のスタッフにてお客様へのカウンセリング に利用する Web・iPad アプリの運用・開発 【成果】 ・Vue2 から Nuxt3 への移行により、ビルド時間 40%短縮とページ追加工数 30%削減を実現し、保守 性と開発効率を大幅に向上させた ・Shell script + S3 の手動デプロイを、 GitHub Actions+Amplify の CD パイプラインに 刷新し、機能改善を高速にユーザーへ届けられ る体制を構築、UI 改善・機能追加のリードタイ ムを短縮した ・JSON パースを不要化するデータ構造最適化に より、クエリ負荷を約 30%削減し、Aurora のイン フラコストを約 15～20%削減した ・SSO 導入により、外部連携からのマイページア クセス時のログインを不要化し、UX を改善した ・リップカラーファインダーなどの新機能を実 装し、店舗スタッフのカウンセリングフローを改 善した ・データ分析システムとのバッチ連携を構築し、 データ活用の自動化・効率化に貢献した	技術選定 基本設計 詳細設計 実装 コードレビュー 単体テスト 総合テスト UAT 導入 運用	【OS】 MacOS Linux 【DB】 Aurora MySQL 【言語】 Vue.js Python 【ツール】 GitHub Action Docker VSCode Xcode 【インフラ(AWS)】 CloudFormation Lambda Amplify EC2 S3 CloudFront CloudWatch API Gateway EventBridge	4～6 人/SME
2022 年 6 月 ～ 2022 年 10 月	ファッションリテール F 社／WMS 刷新プロジェク ト 【担当業務】	要件定義 基本設計 詳細設計 PoC	【OS】 Windows 11 【ツール】 Jira Confluence	10 人/メンバー

	<p>新WMS(倉庫管理システム)のバッチアーキテクチャ設計</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントドリブン型バッチアーキテクチャを設計し、ニアリアルタイムWMS実現に貢献した ・Jira で進捗状況を可視化、Confluence でフロー図やドキュメントを共同作成し、チームのコミュニケーション効率を向上させる方法を習得した ・設計したアーキテクチャのPoCを行い実現可能性を検証した 		<p>Draw.io</p> <p>Slack</p> <p>Amazon MWAA</p> <p>Amazon SQS</p>	
2021年10月 ～ 2022年5月	<p>B社の買収に伴う製品の自社最適化/Salesforce Commerce Cloud と連携できるB2C注文管理システム</p> <p>【担当業務】</p> <p>買収した製品(OMS)について検知済みである脆弱性についての対応を実施</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脆弱性20件を100%解消し、セキュリティ基準への適合と運用安定性を確保。既存ドキュメントを再整理することで、後続メンバーのオンボーディング工数を約30%削減した 	<p>調査</p> <p>設計</p> <p>実装</p> <p>テスト</p> <p>マージ</p>	<p>【DB】</p> <p>DynamoDB</p> <p>Aurora MySQL</p> <p>【言語】</p> <p>Vue.js</p> <p>Node.js(AWS Lambda)</p> <p>GraphQL</p> <p>【ツール】</p> <p>VSCode</p> <p>Backlog</p> <p>Docker</p> <p>Git</p> <p>Subversion</p>	4人/メンバー

2018年4月～2021年9月 株式会社ゼクシス

事業内容：システムインテグレーション 従業員数：約250名

所属：ITシステム1部

期間	プロジェクト内容	担当フェーズ	環境	メンバー/役割
2019年2月 ～ 2021年8月	<p>パナソニック株式会社/取引情報統合管理システム開発</p> <p>【担当業務】</p> <p>グループ内独自フレームワーク(Java ベース)を利用したWEB系システムについて下記案件を担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能追加 <ul style="list-style-type: none"> - 品番検索機能 - 問い合わせ機能 - 工場検索機能 - ショートカットキー対応 - 一覧ダウンロード機能 ・脆弱性対応 ・データ連携汎用化 ・ファイル連携元変更によるシステム改修 	<p>基本設計</p> <p>詳細設計</p> <p>実装</p> <p>単体テスト</p> <p>結合テスト</p> <p>システムテスト</p> <p>導入</p> <p>運用</p>	<p>【DB】</p> <p>Oracle</p> <p>【言語】</p> <p>Java</p> <p>JavaScript</p> <p>SQL</p> <p>【ツール】</p> <p>JP1</p> <p>Eclipse</p> <p>Maven</p> <p>TomCat</p> <p>Git</p> <p>ObjectBrowser</p> <p>Asteria Warp</p>	5人/メンバー
2018年6月 ～ 2018年12月	<p>オムロン株式会社/グローバルコード統合管理システムテスト</p> <p>【担当業務】</p> <p>WEB系システムの構築で下記業務を担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回帰テストの自動化 ・データ移行ツール作成 ・他のシステムとの結合テスト 	<p>単体テスト</p> <p>結合テスト</p>	<p>【DB】</p> <p>Oracle</p> <p>【言語】</p> <p>Selenium</p> <p>VBA</p> <p>SQL</p> <p>【ツール】</p> <p>MS Excel</p> <p>Eclipse</p> <p>Subversion</p> <p>SQL Developer</p> <p>Tera Term</p>	4人/メンバー

■技術スキル

スキル		実務経験	スキル		実務経験
OS	MacOS	3年以上	DB	MySQL	3年以上
	Linux	3年以上		Oracle	3年以上
	Windows	6年以上		GraphQL	1年未満
言語	JavaScript	6年以上	ツール	Git	6年以上
	Node.js	3年以上		Github Action	1年以上
	Java	3年未満		Docker	3年以上
	Python	3年以上		Selenium	1年未満
	Shell	3年以上		Jira	1年未満
	HTML/CSS	6年以上		JPl	1年未満
フレームワーク	Vue.js	3年以上	クラウド	AWS	3年以上

■資格

・Salesforce Certified B2C Commerce Developer (2022 年 11 月)

■自己PR

プロダクトエンジニアとしての開発経験に加え、チームの技術的な意思決定を支援しながら、要件定義から開発・運用まで一貫して関わってきました。

単に要望をそのまま実装するのではなく、背景や意図を理解した上で、本質的な課題を捉えることを重視し、ビジネスサイドや他チームと連携しながら、プロダクトにとって最適な解決策を提案してきました。

その結果、関係者との信頼関係を築き、チームとしてスムーズに意思決定ができる環境づくりや、生産性・品質の向上に貢献してきました。

また、フロントエンド・バックエンド・インフラを横断して開発に携わり、特にバックエンドを中心に、クラウド環境を活用した開発・運用の効率化や改善に取り組んできました。

今後は特定の技術領域に閉じず、ユーザー体験とプロダクト価値を起点に、必要な技術を選び続けられる Product Engineer として成長していきたいと考えています。

API 基盤やイベント駆動、データ処理といったバックエンド領域についても、プロダクトの改善サイクルを継続的に回すための基盤として設計・改善に取り組み、クラウド運用やCI/CDの経験を活かしながら、チームが価値を届け続けられる状態づくりに貢献していきたいです。

以上